

## Lesson 3

### レンガのテラス+木製デッキが庭と室内をゆるやかにつなぐ

H様邸

「外に出て楽しむ庭」をコンセプトに、芝生、低いレンガのテラス、少し高いレンガのテラス、もう少し高い木のデッキと、少しずつ床レベルを変えていくことで、外と内との空間をゆるやかにつなげました。庭と室内を行き来しながら、のんびりくつろいだり、ホームパーティをしたり、子どもと遊んだり、さまざまな団樂のかたちを楽しめそうです。庭木はモミジやヤマボウシ、エゴ、カシ、コナラ、トサミズキなど落葉樹の雑木を集めて、自然な雰囲気。



芝生の庭の奥にレンガのテラスと木製のデッキを設置。つねに視野の端に木が入るように、要所所に株立ちの雑木を配してあります。芝生の端には、トレリスで目隠しして洗濯物干し場を設けるなど、実用的なスペースもきちんと確保。



芝生、レンガのテラス、木製デッキと多彩な表情の庭。奥へ行くにつれ床レベルが上がり、落ち着いた空間になっていきます。隣家との間はトレリスをあしらった塀で目隠し。



奥の木製デッキは室内と直接つながっており、家への出入りはレンガのテラス部分から。

## Lesson 4

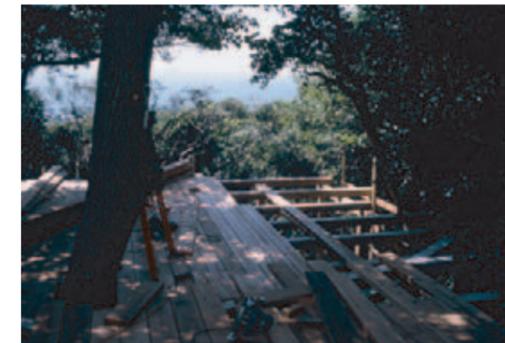
### 美しい景色や自然の風はできるかぎり取り込む工夫を

M様邸

山の斜面の上に建ち、林の向こうに海が見える家。「窓からデッキを張り出したら気持ちがいいでしょうね」「じゃ、つくってください」ということで、このロケーションを生かし、斜面の上に幅5m×長さ7mの広い木製デッキを設置しました。ご主人はすっかりここが気に入り、パソコンを持ち出して一日中海を見ながら仕事をしておられるとか。遊びに来た友達も、必ずここで長居していくそうです。



斜面にあった木はほとんど切らず、デッキに穴を開けてそのまま残しました。夏は木陰になって涼しく、冬は落葉するので日がよく当たり暖かいとのこと。



デッキの施工中。斜面の上に建てているので、足下の柱の高さは最長5mにもなり、かなり大がかりな工事に。

## Lesson 5

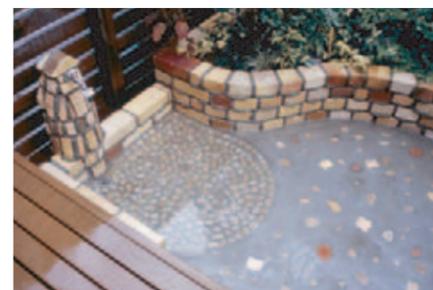
### たとえば子どもが遊ぶプール アウトドアの団樂をもっと自由に

W様邸

団樂のかたちは家族によってさまざまなので、アウトドアリビングも、もっと自由に発想してもいいのでは。たとえば、子どもと遊べるこんなプールはいかがでしょうか。庭の狭さを逆に生かして、思いきって花壇とプールだけで構成しました。プールとして使わない時期でも、庭の小路として、子どもの遊び場として、なんとなく人が集まる楽しいスペースになっています。



庭の花壇の一角は家庭菜園に。デッキの上にもプランターを設置して、親子で楽しめる場所に。



フチは色あいに味のある耐火レンガを使用。プールの底にもレンガの断片を埋め込むなど、遊び心のあるデザインに。排水口近くのモザイク石はイセゴロを使用。



浅いプールですが、泳ぐというより水遊びが思いきりできるので、子どもたちに大人気。庭の小路としてもじゅうぶんに美しい。

